

## 情報学部広報学科「シナリオ研究」特別講義

### 「人の生き様を描くこととは」

特別講師 森岡利行先生（脚本家、映画監督、演出家）

脚本家、映画監督、あるいは演出家として、映画、テレビ、そして演劇の第一線で活躍を続ける森岡利行先生をお招きし、脚本家という仕事の魅力や現実、さらに、シナリオにまつわるエピソードや最新の動向を語っていただきます。

■5月27日(木)13:20~14:50 (3時限目) ■1301教室

※学部学科を問わず受講をオープンにします。履修者以外で約80名（先着順）の受け入れが可能です。ただし、木曜日3時限目に履修登録している科目がある学生は受講できません。

#### ■森岡利行先生のプロフィール



小劇場で俳優の活動を経て、95年石橋凌主演、映画『新・悲しきヒットマン』で脚本家としてキャリアをスタート。その後、連続ドラマや映画の脚本を数多く手掛け、04年、沢尻エリカの初主演映画『問題のない私たち』（アジア太平洋映画祭出品）を監督。08年、脚本・監督した映画『子猫の涙』（主演:広末涼子）が第3回日本映画エンジェル大賞、第20回東京国際映画祭「日本映画・ある視点」で特別賞を受賞した。

最近の脚本代表作は、NHK土曜ドラマ『繋がれた明日』（原作:真保裕一、出演:青木崇高、杉浦直樹、2006年）、NHK連続ドラマ『ツレがうつになりまして』（主演:藤原紀香、2009年）。脚本・監督代表作には、TBS連続ドラマ『帝王』（主演:塚本高史、2009年）、映画『女の子ものがたり』（主演:深津絵里、2009年）などがある。

さらに、1993年に結成した劇団「ストレイドッグ」を主宰し、数々の舞台で脚本と演出をつとめる。最新の公演は、『母の桜が散った夜』（出演:中澤裕子、2010年4月）。

#### ■問い合わせ先

takebaya@shonan.bunkyo.ac.jp 「シナリオ研究」担当教員：竹林紀雄